

大雨による防災情報（第2報）

湯沢河川国道事務所
災害対策支部【警戒体制（砂防）】

湯沢河川国道事務所では、前線に伴う大雨の影響により八幡平山系秋田県側（仙北市田沢湖生保内地内）の雨量観測所で連続雨量が122mmに達し、土砂災害による被害が発生する恐れがあることから、7月16日（月）18時10分に災害対策支部「注意体制（砂防）」から「警戒体制（砂防）」に移行しました。

降雨の状況を見て、管内砂防施設の巡視点検を実施する予定です。

◆砂防降雨状況（7月16日18時00分現在）

山系	雨量観測所	連続雨量
八幡平山系 （秋田県側）	黒湯	122mm
	熊ノ台	61mm
	仙岩峠	44mm
	小先達	76mm

◆災害支部体制

【砂防】 7月16日 18時10分 警戒体制
7月16日 8時10分 注意体制

◆その他

現在まで確認されている災害情報はありません。
今後の防災情報にご注意下さい。

※アンダーライン箇所が前回からの更新箇所

発表記者会：秋田県政記者会、横手記者会、秋田魁新報社大曲支局・湯沢・角館支局

《問い合わせ先》

国土交通省 東北地方整備局 湯沢河川国道事務所
秋田県湯沢市関口字上寺沢64-2
TEL 0183-73-3174（事務所代表）
調査第一課長（河川・砂防） 磯部 良太（内線351）